撮　影　準　備

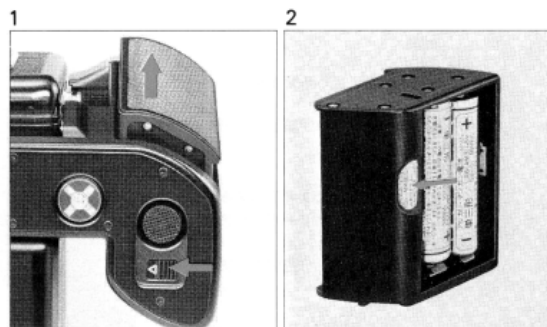
645は電池がないと作動しません。電池は次の種類の単3形電池を、いずれか6本使用します。

- マンガン乾電池SUM-3
- アルカリ乾電池LR-6
- Ni-Cd電池KR-AA

カメラに付いている単3形電池は、工場出荷時のサンプル電池です。電池の自然放電のため容量が少なくなっている場合があります。

電池の入れ方〔グリップ645〕

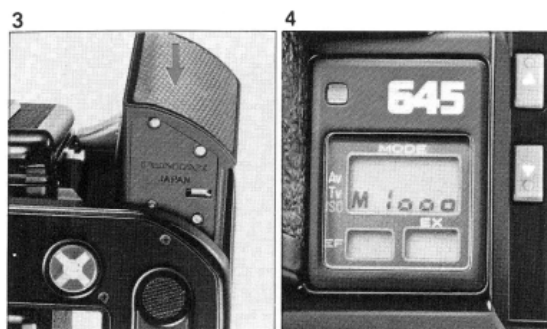
1

2

1. グリップのメインスイッチをOFFにし、底部の電池ケースロックレバーを矢印方向へ押すと、電池ケースが写真のように少し飛び出しますからつかんで引抜きます。

※電池ケースを押し込みながらロックレバーを押すと簡単に外れます。

2. 単3形電池6本を電池ケースに入れます。電池の⊕⊖の方向は電池ケースの表示に合わせて正しく入れてください。電池をケースに入れるときは、バネ板〔接点〕を押しながら先に入れてください。
電池は、矢印の穴の所を押すと簡単にはずすことができます。

3

4

3. 電池ケースをグリップに差し込み、強く押すとロックされます。ロックされたことを確かめてください。
4. グリップに電池を入れると、写真のようにLCD表示窓にLCD〔液晶〕表示が出ます。LCD表示が出ないときは、電池の確認をしてください。
LCD表示とモータードライブ用の電源は共通です。なお、電池が消耗するとLCD表示より先に、モータードライブの作動が遅くなったり止まったりします。

電池を6本中1本だけ逆に入れたときは作動する場合がありますが、漏液などの恐れがありますので絶対逆に入れないでください。

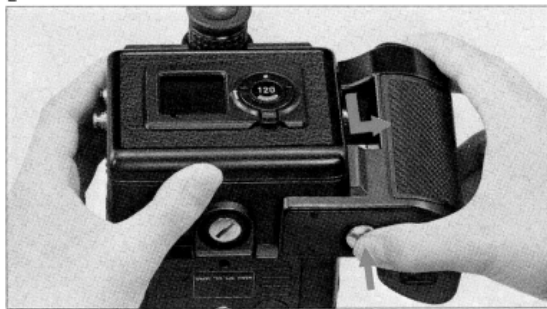
電池について

- 電池を交換するときは全部を一度に、同一メーカー・同一種類の電池を入れてください。新しい電池と古い電池を混ぜて使ったり、種類が違う電池を混ぜて使うことはしないでください。
- 長い間使わないときは、電池を取出しておいてください。古くなった電池は液もれして、内部を傷めることがあります。また電池消耗も防げます。
- 寒冷地では電池性能が低下しますから、電池を保温してご使用ください。
- 新しい予備電池を用意しておきましょう。
- カメラをバッグに入れるとき、シャッターボタンが押されるとシャッターがきれたり、電池が消耗します。メインスイッチは必ずOFFにしてください。

グリップ645の着脱

1

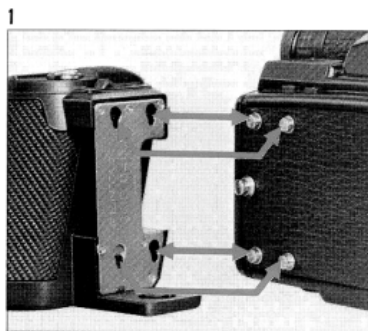
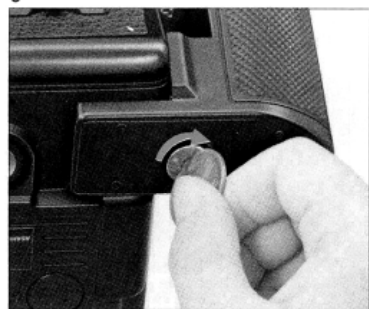
2

グリップを着脱するときは、グリップのメインスイッチをOFFにしてください。

取りはずし

1. グリップを取りはずすときは、底部のグリップロックネジを、コインなどでLOCKと反対方向へ、止まるまで完全にゆるめてください。
2. グリップロックねじを押しながら、グリップ本体を下側へ少し下げて、横に引くとボディーからグリップがはずせます。

1

2

3

取りつけ

グリップをボディーに取りつけるときは、グリップロックネジを完全にゆるめた状態にします。

1. 写真のように、グリップの取りつけ穴をボディー側のグリップ取りつけピンに合わせて入れます。
2. グリップを押し上げると、カチッと音がしてハーフロックされます。
3. 底部のグリップロックネジを、コインなどでLOCKの矢印方向へ締めつけて、必ず固定してください。

レンズの取りつけ・交換〔すでにレンズが取りつけられているときも読んでください〕

1

2

1.ボディーマウントキャップ、レンズマウントキャップをはずします。
ボディーマウントキャップは、レンズロックボタンをボディー側に押しながら、キャップを左に止まるまで回すとはずせます。取りつけるときは、キャップの指標とボディーマウントの指標〔赤点〕を合わせて右に回して取りつけます。

2.レンズを取りつけるときは、ボディーとレンズの赤指標〔A・B〕を合わせてレンズのマウント部を入れます。右に回すとカチッと音がしてロックされます。〔C〕の合わせ方法は手ざわりで行なえますから、暗い所でレンズ交換をするとき便利です。

3

4

5

3.レンズキャップは両側のギザギザの部分を内側に押して着脱します。
4.レンズを取りはずすときは、レンズロックボタンをボディー側に押しながら、レンズを左に回すとはずせます。
5.はずしたレンズにはゴミや汚れがつかないように、レンズキャップやレンズマウントキャップを取りつけてください。

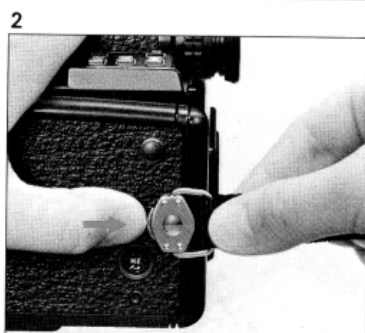
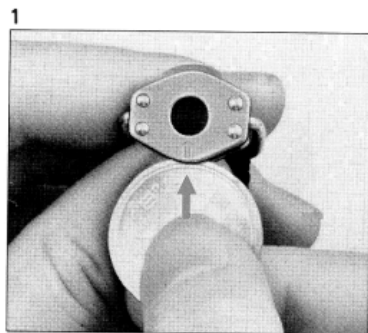
注　意

● マウントの内側にレンズ情報接点があります。キズをつけたり、手油や汚れなどを付けないようにしてください。汚れたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。

ストラップの取りつけ方

1

2

3

ストラップを、ボディー側の吊り金具に取りつけて使用します。

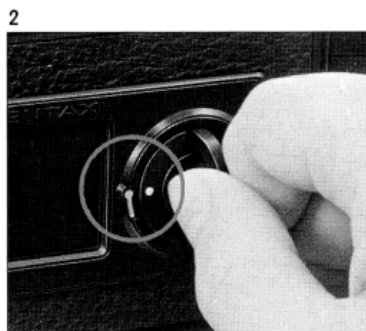
1. 写真のように、コインなどでファスナーのロック板を矢印方向に押すと、ロックが解除されます。
2. ファスナーの矢印を外側にして穴を吊り金具に通し、ロック板を元に戻すと完全にロックされます。取りはずすときは、1.と同じようにコインなどでロック板を押すと吊り金具から抜きとることができます。
3. ストラップの長さを調節するときは、ストラップ留め具で行ないます。

※ストラップの取りつけ・調節が終わりましたら強く引いてみて、取りつけ具合いを確認してください。

120・220フィルムバック645・着脱の仕方

1

2

3

フィルムバックは120のほかに、別売りの220・70mmの3種類で、撮影用途に合わせてご利用ください。なお、120・220フィルムバックの操作は共通です。

120フィルムバックは120フィルム用で、15コマの撮影。
220フィルムバックは220フィルム用で、30コマの撮影。
70mmフィルムバックは70mmフィルム用で、約90コマの撮影ができます。

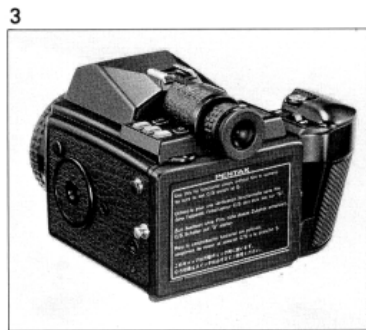
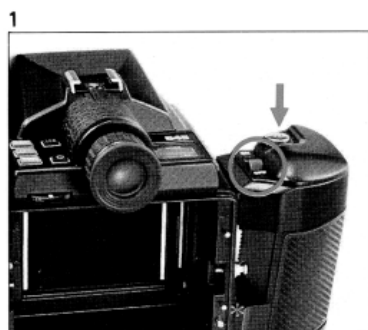
※フィルムバックをボディーに差し込むときは、上下を確認してから正しく入れてください。上下逆にして、むりに入れると故障の原因になります。

1. フィルムバック着脱つまみを起こして、着脱指標の赤点が合うように左へ回してから、さらに赤線の先端まで回すとカチャッと音がしてロックが解除され、フィルムバックを引出せます。
2. 装着は写真のように、着脱指標の赤点が合っていることを確認してから、フィルムバック着脱つまみを持ってボディーのフィルムバック室に差し込みます。このとき、フィルムバックの左右の端を「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
3. フィルムバック着脱つまみを押しながら、右方向に90度回してロックします。フィルムバック着脱つまみは、下に倒して止めておきます。

空シャッターのきり方

1

2

3

空シャッターをきるときは「フィルムバックをはずした状態」または「ボディー後キャップ645を付けた状態」にします〔レンズなしでも可能〕。
「フィルムなしのフィルムバックを取りつけた状態」では空シャッターはきれません。

※C－S切換えダイヤルは必ずSにしてください。Cでの作動は故障の原因になります。

1. フィルムバックをはずした状態で空シャッターをきるときは、メインスイッチをONにしてからシャッターボタンを押すとシャッターがきれます。

※写真の＊印のピンを押しながら空シャッターはきらないでください。誤作動や故障の原因になります。

2. フイルムバックをはずした状態でレンズの絞りがA〔オート〕のときは、1/1000秒のシャッタースピードしかきれません。絞りが各F値のときは、1/1000秒、1/60秒、B〔バルブ〕のシャッタースピードがきれます。
詳しくは32、33ページをごらんください。
3. フィルムバックをはずした状態で付属のボディー後キャップを付けたときは、シャッターを1回きると撮影モードやシャッタースピード・絞りF値をセットすることができますので、フィルムを入れた状態に近い操作ができます。詳しくは説明書を続いてお読みください。

使用上の注意

使用上の注意は、全体を読まないと判りにくい内容もありますが、一通り、目を通し、各ページの説明を読んだところでもう一度確認のためご覧ください。

● シャッターボタンを押してもシャッターがきれない場合は、下記の条件を確認してください。

1. メインスイッチがONになっていない。
2. グリップの電池が消耗している。電池が入っていない、または正しく入っていない。
3. 120・220・70㎜フィルムバックがフィルムを入れない状態でボディーに取りつけてある。
4. フィルムの規定枚数が終っている。
5. 露出中〔撮影中〕

● 撮影モードやシャッタースピード、絞り値のセットができない場合は、下記の条件を確認してください。

1. ボディーにフィルムを入れた状態でもフィルム枚数がまだ1枚目まで行っていない。
2. ボディー後キャップ645を取りつけた状態でもシャッターを1回きっていない。
3. ボディーに取りつけているレンズがAレンズでない。
4. AレンズでもAにセットしてなければA〔オート〕の撮影モードは出ません。